

【質問】新型コロナウイルス感染症について、県医師会が7月28日に出した「医療緊急警報」について教えてください。
(57歳、会社員)

医療緊急警報

【回答】新型コロナウイルスのオミクロン株「BA・5」系統の流行により、県内でも急激に感染者の数が増えました。もう、どこで誰が感染してもおかしくない状況です。当初は若い人を中心とした広がりましたが、最近が高齢者や基礎疾患を持つ人の感染も多く、入院加療が必要な重症者が増えています。県医師会は、必要かつ適切な医療が提供され、重症化・死亡例を極力防ぐことが重要と考え、7月28日に「医療



検査を活用すること
(4) 新型コロナウイルスワクチン接種を促進すること

重症化・死亡極力防ぐ

緊急警報」を出し、県民の皆さんに五つのお願いをしました。

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う病床の逼迫(ひっぱく)を認識すること(2) がん検診と通常診療(基礎疾患)の機会確保の必要性を理解すること(3) 感染対策を徹底し感染

(5) 高齢者など重症化リスクの高い人たちを守るための行動を取る
こと一です。

県民においては、長期の自粛生活から解放された緊張感のゆるみに加え、「オミクロン株は重症化が少ない」との認識から感染対策がおざなりになった感も否

めません。しかし、予想を超えた感染拡大は社会、特に医療界に大きな悪影響を及ぼします。新型コロナウイルスの入院患者増加で、多くの一般病床がコロナ専用で転換されています。それだけでなく、多数の職員が感染や濃厚接触で休職してお

県民への「五つのお願い」

り、稼働できる病床自体が少なくなっています。がん治療や手術、緊急を要する患者の治療などにも影響が出てきています。
外来診療では、感染を心配して、がん検診や健康診断を受けることを控える人も出てきていますし、発熱外来に時間

を取られ、健診を抑制している医療機関もあります。感染拡大地域では発熱外来の破綻を防ぐため、症状がある人に無料で検査キットを配布している自治体もあります。本県でも検討がなされていますが、われわれとしては症状のある人が、まずは医療機関を安心して受診できるような検査態勢の強化を図っています。

一方、無症状の接触者は検査のための受診を控えてください。同居家族は陽性者との最終接触日の翌日より5日間の外出自粛となります。会社での接触者が無症状の場合、自粛の必要はありません。マスク着用や「3密」を避ける予防対策を徹底し、通常の業務を行ってください。
(県医師会)

質問をどうぞ

この欄では県医師会が医療制度全般の質問にお答えします。質問希望の方は知りたい内容を分かりやすくまとめ、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「医療制度Q&A」係までお送りください。不明な点をお聞きする場合がありますので住所、氏名、年齢、性別、電話番号明記してください。なお、直接本人への回答はいたしません。